

**【第1部】プレゼンテーション&ディスカッション
モデレーター**



Grace CHENG
香港展能藝術會 副會長

アート・イン・ホスピタルとコミュニティ・アート・ネットワークのディレクターとして活躍。アートは人生に無限の可能性をもたらすと信じて、障害者を含む様々なコミュニティにアートをもたらすための代理人として活動している。



Janet TAM

香港展能藝術會常務取締役
(香港)

1996年からアーティスト、ワークショップ・ファシリテーター、プレイバック・シアター実践者、アート・アドミニストレーターとして、さまざまな障害のある人たちとの活動を開始。癌治療の経験をもつ彼女は、障害は人間である以上だれもが経験するものであると信じている。



Kevin WONG

城市当代舞踊団ディレクター
(香港)

香港中文大学で経営学の学士号を取得。1995年に城市当代舞踊団（シティ・コンテナポラリーダンスカンパニー）に広報担当として、またフリーランスとして数々の自主制作ダンス作品に参加。



Ewen CHIU

振付家・ダンサー
(台湾)

台湾の嘉義市に生まれ、幼い頃からダンスを始める。16歳まで学校以外ではダンスが何よりも贅沢な楽しみで、校卒業後は大好きなダンスに専念。1994年卒業後「クラウドゲートダンスシアター」に入団。



Aman Yap Choong Boon

Dua Space Dance Theatre
創設者・芸術監督
(マレーシア)

ケント公爵夫人国際奨学金を得て香港演劇学院入学。コンテンポラリーダンスを専攻。城市当代舞踊団(香港)、Nai-Ni Chen Dance Company(アメリカ)、GGD Dance Company in New York(アメリカ)にプロダンサーとして所属。世界25カ国・62都市での公演実績。



Peter Sau

Very Special Arts Singapore
パフォーミング・アーツ
芸術開発部長
(シンガポール)

アーティスト教育者・舞台監督・プロデューサーとして障害を持つ新興アーティストのプロ化を促進。2011年ヤングアーティストアワード、2015年Life! シアターアワードで最優秀俳優賞を受賞。世界的な視野を持ち多分野にわたる障害芸術活動の幅を広げている。



松本 志帆子

藁エミュージアム
(日本/高知)

2010年より現職。開館準備から運営に関わり、福祉とアート、地域とアートなど様々な分野をつなぎながら展覧会をはじめとする様々な企画を行うほか、障がいのある方の表現活動の相談支援や人材育成、藁エミュージアムで働く障がいのある人たちのサポートも行っている。

【第2部】香港ディスカッション コーディネーター



鈴木 京子

国際障害者交流センタービッグ・アイ 副館長
アーツ エグゼクティブプロデューサー

2000年ビッグ・アイの立ち上げから関わり、事業の企画、制作、運営をきっかけに芸術文化を通じた障害のある人や多様な人を受容できる共生社会の実現に向けた活動をおこなう。また、誰もが芸術文化を享受できる環境づくりを促進するため芸術、福祉両分野における人材育成や啓発、モデル事業、ネットワークの構築に取り組んでいる。



長谷川 達也

DAZZLE 主宰
「Breakthrough Journey」総合演出
(日本)

ダンサー、演出家、振付家。
東方神起、宝塚、藤木直人他著名アーティストのライブ出演・振付の他、坂東玉三郎演出舞台「バラレ」の振付・主演などコラボレーションも。近年ではイマーシブシアター（体験型作品）の「Touch the Dark」「SHELTER」などを手掛け、常に新しいダンス表現に挑戦し続けている。



Jacky FUNG

都市当代舞踊団マネージャー
プログラム・中国舞踊開発
(香港)

香港中文大学で文化管理の修士号取得。香港舞台芸術学院の演劇学校と技術芸術学校でそれぞれ演技芸術学士と舞台技術・経営修士号取得。プログラムの戦略的計画と実施。「HOTPOT-東アジア・ダンス・プラットフォーム」など中国舞踊開発プログラムのアウトリーチ・プログラムや交流活動も行う。



Cyrus HUI

振付家
(香港)

対人対立、対人緊張、アイデンティティを振付テーマとし、現代社会の盲点を指摘し、観客に既成の社会的機能・役割・関係性についての考察を促す。『Here it goes again』『Dance, for No Reason』は2015年と2017年の香港ダンスアワードにノミネートされる。現在はシウ・ロン・フォン・ダンス・シアターの芸術監督・振付家。香港ダンスアライアンスのエグゼクティブ・メンバー。



Jason WONG

アーティスト
(香港)

強いビートのヒップホップ、手話ダンス、ジャズダンス、K-POPを得意とする。「サイレント・ダンス」を積極的に広め、2010年に聴覚障害者のダンス愛好家たちと「ファン・フォレスト」を結成。ろう文化の普及に力を注ぐ。2016年の再生社会の10人の再生戦士の一人に選ばれる。